

めぐみイエス・キリスト教会

2021年5月2日(日)第I主日礼拝
週報「通算第555号」



2021年標題聖句

ヨハネの福音書20章21節～22節

《イエスは再び彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父が私を遣わされように、私もあなたがたを遣わします。」こう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。』》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】	
【賛美Ⅰ】	新聖歌435「罪に沈む汝が友に」 p. 702
【交読文】	No.7詩篇第23篇 p. 884
【賛美Ⅱ】	新聖歌416「聖霊来たれり」 p. 668
【使徒信条】	
【主の祈り】	
【先週説教】	
【賛美Ⅲ】	オリジナル賛美No.4「天には救いの喜び」
【聖書朗読】	ヨハネの福音書21章15節～19節(新約p. 230)
【礼拝説教】	《あなたは私を愛していますか》
【聖餐式】	
【賛美Ⅳ】	新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236
【平和祈り】	
【頌 栄】	新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85
【祝祷後奏】	

●ポイント1. 主イエス様のシモン・ペテロへの預言とは？

※ルカの福音書22章31節～34節「立ち直ったのなら」 (新約p.166)

22:31「シモン、シモン。見なさい。サタンがあなたがたを麦のようにふるいにかけることを願って、聞き届けられました。

22:32 しかし、私はあなたのために、あなたの信仰がなくならないように祈りました。ですから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」

22:33 シモンはイエスに言った。「主よ。あなたとご一緒なら、牢であろうと、死であろうと、覚悟はできております。」

22:34 しかし、イエスは言われた。「ペテロ、あなたに言っておきます。今日、鶏が鳴くまでに、あなたは三度私を知らないと言います。」

※ヨハネの福音書13章36節～38節「最後の晩餐において」(新約p.213)

13:36 シモン・ペテロがイエスに言った。「主よ、どこにおいでになるのですか。」イエスは答えられた。「私が行くところに、あなたは今ついて来ることができません。しかし後にはついて来ます。」

13:37 ペテロはイエスに言った。「主よ、なぜ今ついて行けないのですか。あなたのためなら、いのちも捨てます。」

13:38 イエスは答えられた。「私のためにいのちも捨てるのですか。まことに、まことに、あなたに言います。鶏が鳴くまでに、あなたは三度私を知らないと言います。」

●ポイント2. その預言の成就とは？

※マタイの福音書26章69節～74節「大祭司の中庭において」(新約p.59)

26:69 ペテロは外の中庭に座っていた。すると召使いの女が一人近づいて来て言った。「あなたもガリラヤ人イエスと一緒にいましたね。」

26:70 ペテロは皆の前で否定し、「何を言っているのか、私には分からない」と言った。

26:71 そして入り口まで出て行くと、別の召使いの女が彼を見て、そこにいる人たちに言った。「この人はナザレ人イエスと一緒にいました。」

26:72 ペテロは誓って、「そんな人は知らない」と再び否定した。

26:73 しばらくすると、立っていた人たちがペテロに近寄って来て言った。「確かに、あなたもあの人たちの仲間だ。言葉のなまりで分かる。」

26:74 するとペテロは、嘘ならのろわれてもよいと誓い始め、「そんな人は知らない」と言った。すると、すぐに鶏が鳴いた。

●ポイント3. 「あなたは私を愛していますか」という質問とは？

※第 I ヨハネ4章9節～10節「神は愛です」(新約p.483)

4:9 神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに命を得させて下さいました。それによって神の愛が私たちに示されたのです。

4:10 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

◎先週のメッセージの概要【朝の食事において】

《ペテロと四人の使徒と他の弟子たちは出漁します。夜通し網を降ろしましたが、何も捕れません。その時、岸边から声がかかります。「網を右に打ちなさい。そうすれば捕れます」と。その言葉通りにしますと、何と153匹の魚が掛かったのです。さて、彼らが魚で溢れる網を舟で運んで来ますと、そこには炭火がおこされていました。「さあ、朝の食事をしなさい。」暖かい炭火と、香ばしく焼かれたパンと魚も、主イエスが用意して下さったのです。また、別な場所で待機していた他の使徒たちも加わって、主イエスと共に、楽しい「朝の食事」のひと時が始まりました。

主イエスは、パンを取り彼らに与え、また魚も同じようにして彼らに与えられます。実はこれにも深い意味があるのです。四つの福音書すべてに描かれた奇跡があります。それは「五千人の給食」のことです。

主イエスは、この時、五つのパンと二匹の魚を取り、神をほめたたえてそれを裂き、弟子たちに与え、すわっている群衆に配らせたのです。人々はみな、食べて満腹したと書かれています。この奇跡こそ、主イエスが、ご自身を信じ従う者たちには食事を与えて下さること、また用意して下さることの確固たる約束であり、その証しなのです。

私たちは肉体を持っています。主イエスも同じく肉体を持たれたのです。主は空腹も、喉の渇きも知っています。そして食べ物が私たちに必要であることも知っておられます。実は、今朝食べた朝食も、そしてランチも、また夕食も、父なる神様が、主が私たちの為に用意して下さった食事なのです。この事を私たちは決して忘れてはならないのです。

この時の朝の食事は、ペテロに取って、その生涯において、忘れ得ぬ大きな出来事でした。後ほど、彼は百人隊長コルネリオにこう証します。『私たちは、イエスが死者の中からよみがえられて後、ご一緒に食事をしました』と。主はよみがえられました。今も生きておられます。そして今日も私たちの為に食事を用意され、共にその席について下さるのです。》

◎お知らせ

※次回礼拝は5月9日(日)教会にて通常通り行ないます。聖書勉強会・祈り会は5月12日(水)各家庭にて行ないます。5月5日(水)はお休みします。